

# 保健室だより

はしかにならない！  
はしかにさせない！

平成 21 年 5 月発行  
大正大学保健室

2012 年の麻疹排除を目標に、2007 年 8 月厚生労働省において、わが国における「麻疹排除計画」が策定されました。これを機に、麻疹排除に向けた本格的な取り組みが国民ひとりひとりに求められています。予防接種を受けたことがない人はもちろん、1 回受けたことがある人も、2 回目の予防接種を受けましょう。



## 麻疹（はしか）の基礎知識

### ■麻疹（はしか）とは

麻疹（はしか）は毎年春から初夏にかけて流行がみられます。麻疹（はしか）は、麻疹ウイルスによって引き起こされ、一般に小児期に多い急性の感染症として知られていますが、近年では、10代、20代の若年者間での感染が多くみられました。

### ■麻疹ウイルスの感染経路は

麻疹ウイルスは、ヒトからヒトへ感染し、その感染力は非常に強く、免疫を持っていない人が感染するとほぼ 100% 発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染です。

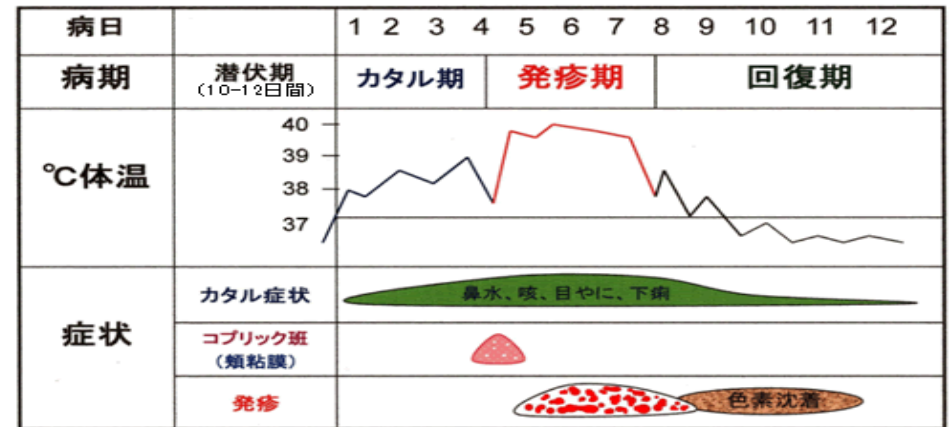
### ■10代から20代中心に流行した理由は

今まで一度も麻疹（はしか）の予防接種をしていないか、1 回接種しか受けていないため、免疫が強化されず、時間の経過とともに免疫が徐々に弱まってきたことが原因の一つと考えられています。免疫強化のために 2 回接種することが大切です。

### ■麻疹（はしか）の症状は

まず熱や咳、鼻汁、目やになどで始まり、目の充血や口の粘膜の発赤などが目立ちます。口の中の粘膜に白いブツブツ（コプリック斑）が見られることもあります。3 日ほど経った頃、一旦熱が軽くなりますがすぐまた高熱となります。その頃から発疹が出てきます。発疹は耳の後ろから始まり次第に全身に広がります。発疹が出始めて 3~4 日経つと熱は下がり、発疹は次第に黒ずんだ色に変わってきます。

潜伏期間（感染してから発病するまでの期間）10~12 日程度



出典：沖縄県小児保健協会 HP

### ■麻疹（はしか）の流行状況に関する情報は

国立感染症研究所感染症情報センターのホームページで確認することができます。

HP: (<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html>)

### ■麻疹（はしか）の治療は

麻疹ワクチンの予防接種が有効です。その他、麻疹（はしか）の患者に接触した場合、72 時間以内に麻疹ワクチンの予防接種をすることも効果的であると考えられています。接触後 5、6 日以内であれば γ-グロブリンの注射で発症を抑えることができる可能性もありますが、医師との相談が必要です。